



さいとうはやと  
齊藤隼人

3月で地域おこし協力隊としての3年間の任期が終了しました。着任時は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が繰り返され、マスクの着用が日常化し、お祭り等の人が集まる機会の多くが中止や縮小されてきました。

3月で地域おこし協力隊としての3年間の任期が終了しました。着任時は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が繰り返され、マスクの着用が日常化し、お祭り等の人が集まる機会の多くが中止や縮小されてきました。

過疎化は多くの地域で課題とされています。檜原村の環境的にも全国的な人口減少が進んでいる今、大勢の人が移住して人口減少に歯止めがかかるとは現実的ではないかもしれません。

今後の展望  
自分自身、檜原村の魅力にひかれて移住してきました。地域資源を保全・活用しながら、繰り返しの地域の活動や暮らしに関わる『檜原ファン(関係人口)』を増やしたいと考えています。

3年間で地域おこし協力隊としての3年間の任期が終了しました。着任時は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が繰り返され、マスクの着用が日常化し、お祭り等の人が集まる機会の多くが中止や縮小されてきました。

過疎化は多くの地域で課題とされています。檜原村の環境的にも全国的な人口減少が進んでいる今、大勢の人が移住して人口減少に歯止めがかかるとは現実的ではないかもしれません。

今後の展望  
自分自身、檜原村の魅力にひかれて移住してきました。地域資源を保全・活用しながら、繰り返しの地域の活動や暮らしに関わる『檜原ファン(関係人口)』を増やしたいと考えています。

3年間で地域おこし協力隊としての3年間の任期が終了しました。着任時は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が繰り返され、マスクの着用が日常化し、お祭り等の人が集まる機会の多くが中止や縮小されてきました。

過疎化は多くの地域で課題とされています。檜原村の環境的にも全国的な人口減少が進んでいる今、大勢の人が移住して人口減少に歯止めがかかるとは現実的ではないかもしれません。

今後の展望  
自分自身、檜原村の魅力にひかれて移住してきました。地域資源を保全・活用しながら、繰り返しの地域の活動や暮らしに関わる『檜原ファン(関係人口)』を増やしたいと考えています。

3年間で地域おこし協力隊としての3年間の任期が終了しました。着任時は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が繰り返され、マスクの着用が日常化し、お祭り等の人が集まる機会の多くが中止や縮小されてきました。

過疎化は多くの地域で課題とされています。檜原村の環境的にも全国的な人口減少が進んでいる今、大勢の人が移住して人口減少に歯止めがかかるとは現実的ではないかもしれません。

今後の展望  
自分自身、檜原村の魅力にひかれて移住してきました。地域資源を保全・活用しながら、繰り返しの地域の活動や暮らしに関わる『檜原ファン(関係人口)』を増やしたいと考えています。

3月で地域おこし協力隊としての3年間の任期が終了しました。着任時は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が繰り返され、マスクの着用が日常化し、お祭り等の人が集まる機会の多くが中止や縮小されてきました。

過疎化は多くの地域で課題とされています。檜原村の環境的にも全国的な人口減少が進んでいる今、大勢の人が移住して人口減少に歯止めがかかるとは現実的ではないかもしれません。

今後の展望  
自分自身、檜原村の魅力にひかれて移住してきました。地域資源を保全・活用しながら、繰り返しの地域の活動や暮らしに関わる『檜原ファン(関係人口)』を増やしたいと考えています。



竹ひごをつくっているところ

## 2名の隊員が協力隊を卒業しました

人里地区・笛吹集落に住んでいた高野です。最長3年の任期を1年早く切り上げ、今年の3月で協力隊を卒業しました。事前に直接お別れのご挨拶ができなかった方、本当に申し訳ありません。この場を借りて、ご挨拶させていただきます。

卒業を決めた理由  
協力隊を卒業した理由は、檜原村での生活を通じて新しい目標ができ、その目標に向けて挑むことができることに決まったからです。私が働くことになった会社は、地方の魅力を活かした産業振興を支援する会社です。

檜原村にきた当初の私は、「自分自身が、自然の恵みを生かした暮らしをすること」を目指していました。そのため協力隊卒業後は、自分一人が生活できる程度のお金をなんとかして稼げれば大丈夫だ、と思っていました。しかし檜原村で過ごすうちに、村民の皆さんの温かさや、檜原村の生活文化や伝統文化の素晴らしさを実感し、「檜原村が、今ある素晴らしさを保つたまま、これからも存続していくにはどうすればいいんだろう」と考えるようになりました。

人里地区・笛吹集落に住んでいた高野です。最長3年の任期を1年早く切り上げ、今年の3月で協力隊を卒業しました。事前に直接お別れのご挨拶ができなかった方、本当に申し訳ありません。この場を借りて、ご挨拶させていただきます。

卒業を決めた理由  
協力隊を卒業した理由は、檜原村での生活を通じて新しい目標ができ、その目標に向けて挑むことができることに決まったからです。私が働くことになった会社は、地方の魅力を活かした産業振興を支援する会社です。

檜原村にきた当初の私は、「自分自身が、自然の恵みを生かした暮らしをすること」を目指していました。そのため協力隊卒業後は、自分一人が生活できる程度のお金をなんとかして稼げれば大丈夫だ、と思っていました。しかし檜原村で過ごすうちに、村民の皆さんの温かさや、檜原村の生活文化や伝統文化の素晴らしさを実感し、「檜原村が、今ある素晴らしさを保つたまま、これからも存続していくにはどうすればいいんだろう」と考えるようになりました。

人里地区・笛吹集落に住んでいた高野です。最長3年の任期を1年早く切り上げ、今年の3月で協力隊を卒業しました。事前に直接お別れのご挨拶ができなかった方、本当に申し訳ありません。この場を借りて、ご挨拶させていただきます。

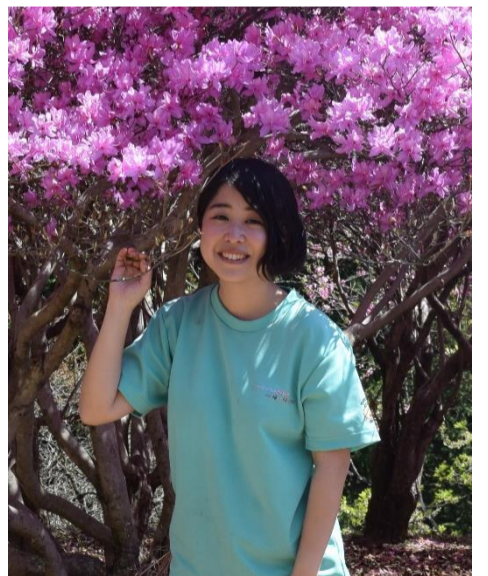
卒業を決めた理由  
協力隊を卒業した理由は、檜原村での生活を通じて新しい目標ができ、その目標に向けて挑むことができることに決まったからです。私が働くことになった会社は、地方の魅力を活かした産業振興を支援する会社です。

檜原村にきた当初の私は、「自分自身が、自然の恵みを生かした暮らしをすること」を目指していました。そのため協力隊卒業後は、自分一人が生活できる程度のお金をなんとかして稼げれば大丈夫だ、と思っていました。しかし檜原村で過ごすうちに、村民の皆さんの温かさや、檜原村の生活文化や伝統文化の素晴らしさを実感し、「檜原村が、今ある素晴らしさを保つたまま、これからも存続していくにはどうすればいいんだろう」と考えるようになりました。

人里地区・笛吹集落に住んでいた高野です。最長3年の任期を1年早く切り上げ、今年の3月で協力隊を卒業しました。事前に直接お別れのご挨拶ができなかった方、本当に申し訳ありません。この場を借りて、ご挨拶させていただきます。

卒業を決めた理由  
協力隊を卒業した理由は、檜原村での生活を通じて新しい目標ができ、その目標に向けて挑むことができることに決まったからです。私が働くことになった会社は、地方の魅力を活かした産業振興を支援する会社です。

檜原村にきた当初の私は、「自分自身が、自然の恵みを生かした暮らしをすること」を目指していました。そのため協力隊卒業後は、自分一人が生活できる程度のお金をなんとかして稼げれば大丈夫だ、と思っていました。しかし檜原村で過ごすうちに、村民の皆さんの温かさや、檜原村の生活文化や伝統文化の素晴らしさを実感し、「檜原村が、今ある素晴らしさを保つたまま、これからも存続していくにはどうすればいいんだろう」と考えるようになりました。



たかのゆうみ  
高野優海

川崎市)に戻ります。

檜原村は最高!

檜原村での日々は、私の理想としていた暮らしそのものでした。耳をすますと鳥や虫の鳴き声が聞こえ、山々や花々の様子から季節の移ろいをはっきりと感じることができるようになりました。そして何より、都会とは違う、人と人の温かいつながりがある。地域の方から「親戚だと思ってくれていいからね」と声をかけていただいた時には、思わず泣きそうになりました。

こうした檜原村での生活が原体験となり、「日本の地域を、その素晴らしさを保つたまま存続させること」が私の人生のミッションになりました。親切にしてくださいました皆さん、本当にありがとうございました。そして本当にありがとうございました。

これからも檜原村に関わり続けたいという思いは変わりません。定期的に村に顔を出せればと思っていますので、村内で見かけたなら声をかけていただけると嬉しいです! (高野)

檜原村役場むらづくり推進係まで!

☎042-519-9556

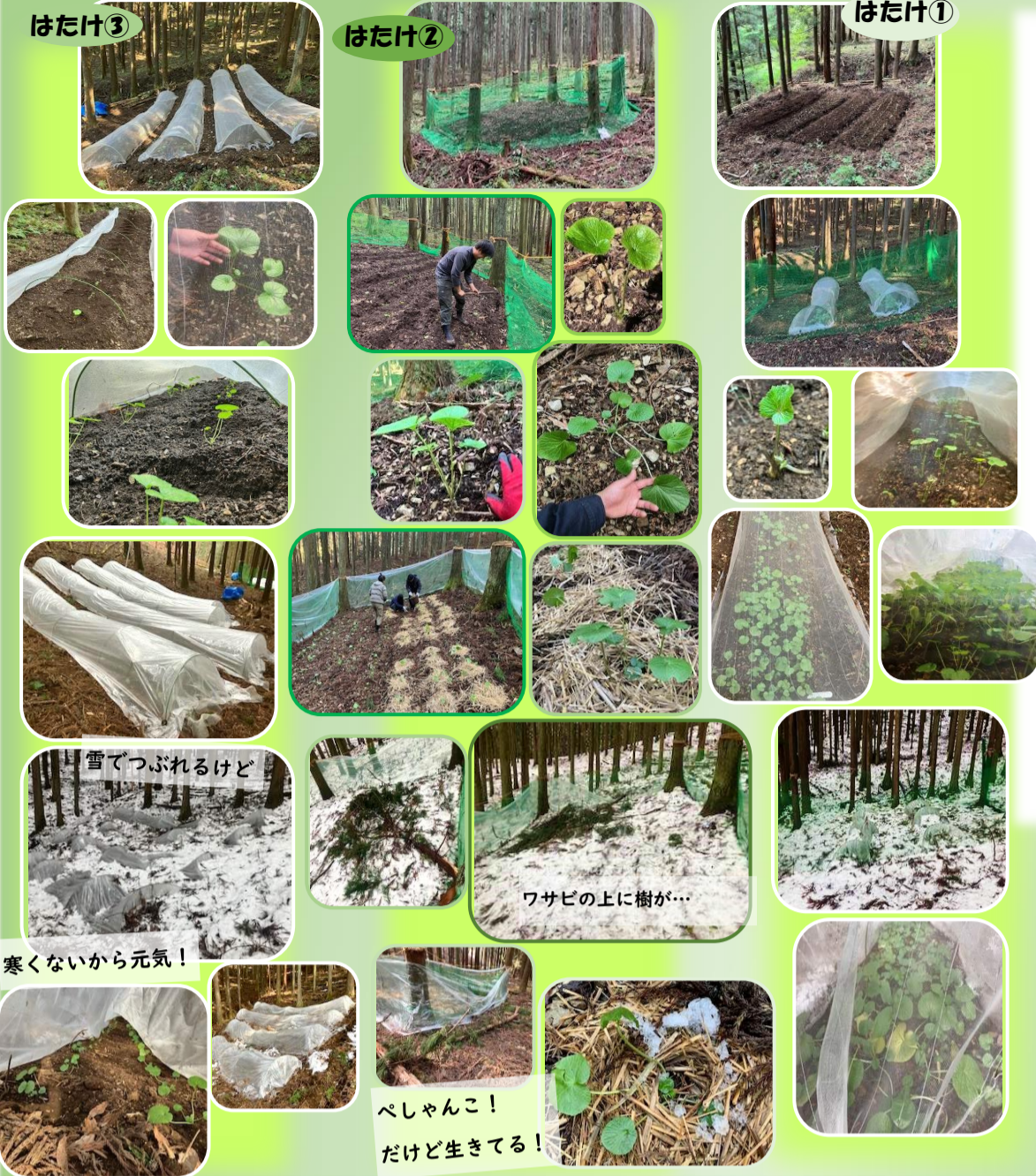
空き家の相談受付中  
空き家ありませんか?



# 森林を活用した本わさびの栽培経過

(友澤)

- 五〜七月 山林候補地の調査・選定  
支柱が30〜40cm軽く刺さり、適度に日差しを遮る山林。
- 八月 はたけ①の開墾・耕運、最初の苗作付け  
カナブンによる食害。半数以上枯死。
- 九月 はたけ②・③の開墾・耕運、二回目の苗作付け  
はたけ①・③の畝に防虫ネットのトンネル設置  
ハバチの幼虫発生、病気発生。
- 十月 幼虫駆除・病気の調査、土寄せ  
葉物野菜用の薬剤を散布。
- 十一月 経過観察  
気温が20℃を下回った頃から成育が良くなる。
- 十二月 経過観察  
氷点下になると霜にあたり枯れる葉が出始める。
- 一月 はたけ①・③の畝をビニールシートで被覆  
気温低下と共に葉が倒れ、茎の短い葉が生えてくる。
- 二月 積雪後の復旧と落木・枝の撤去  
積雪によりトンネル支柱がつぶれ、折れた樹がはたけ②に落下。  
雪による直接的な被害はない。



## 生活支援の事業をはじめます!

以前SPOONでも紹介しましたが、半年前に高校の同級生が移住してきてくれました。私はもともと、檜原村で何か役に立つことができなかつたかと思ひ、地域おこし協力隊になりました。その中で、皆さんの生活のお手伝いができるかと思ひ、生活支援の事業をしようと思ひ、していたところ、その事業を手伝ってくれるというので、同級生の「後藤」が移住してきてくれました。



事業の内容は、主に買い物や代行、村外のスパーやホームセンターなどへ行く(仮称)買い物ツアー、血圧などをチェックする「健康管理」、村外への通院を補助する「通院付き添い」などを行う予定です。また、ご自宅まで伺って、身体の痛みやコリを緩和する「身体調整」も行う予定です。



後藤くん

他にも困っていることややってほしいことがあると思ひますので、「こんなことやってみよう」とか、「こういふことやってもらえると助かる」などありましたら、遠慮なくお声がけください! もちろん、協力隊として、あと2年間活動していきますので、これからますます、これからもよろしくお願ひいたします! (中澤)



地域おこし協力隊へのご依頼は  
檜原村役場 むらづくり推進係へ  
☎042-519-9556

協力隊 Facebook は  
QR コードから! →



当番

## おとうしんじ 御飼神事に参加しました!

当番

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、3月1日に本宿で行われた「御飼神事」に協力隊の男性陣3名が参加させていただきました。約450年続いている神事に参加させていただき、より深く檜原村のことを知るきっかけにもなりました。神事の前には「切火」と呼ばれる禊(みそぎ)を4日間行い、神事に向けて準備していかないことも多く、自分自身を見つめ直すことができました。



当日は、朝から準備や清掃を行い、深夜の川で禊(みそぎ)や水汲み、洗米を行い、火打石でつけた火を使ってお米を炊きます。今回は筆頭当番の方のお孫さんが初参加で、火もお孫さんがつけました!



協力隊は来年も2名(友澤さん、中澤)が参加することが決まりました! 左の記事の後藤も参加します! 遅い時間ではありますが、来年も見に来てください! (中澤)

## 編集後記

このメンバーでのSPOON執筆は今月で最後となります。村民の皆さんからの「読んでよ!」という声がいっぱい励みになっていました。私もこれからは読者として、SPOONの更新を楽しみに待ちたいと思います(実はSPOONは、役場のホームページでも読めるんです!) 皆さん、本当にお世話になりました! (高野)



## 地域おこし協力隊メンバー

なかざわ 中澤 だいき 大樹  
ともさわ 友澤 ゆうき 勇紀

村内で見かけたら、お声かけください!